

ロコモティブシンドロームの国民認知度を上げるための企画と調査

研究分担者 田辺 秀樹 田辺整形外科医院 院長

研究要旨

健康日本 21 での数値目標は、「ロコモティブシンドロームの国民認知度を 2022 年までに 80%以上」となっている。しかし、最近の国民認知度調査でも未だに 46.8%にとどまっている。認知度の低いのは、特に若年層に低いことがわかった。そこで、若年層に訴えるために、SNS やユーチューブを媒体として動画を作成してアップロードし、その反応を調査する。

平成 30 年 4 月に動画を公開したため、まだ結論は出ていない。

田辺整形外科医院
院長 田辺秀樹

A. 研究目的

健康日本21の数値目標では、「ロコモティブシンドロームの国民認知度を80%以上」となっている。最近の認知度調査では、未だ50%まで達していない。特に、若年層への浸透が少ない。

今回、若年層に広報する手段として SNS やユーチューブという媒体を使用し、楽しい動画を作成し認知度調査との関連を調査する。

B. 研究方法

SNSなどのメディアを使用して、国民に分かりやすくロコモの関心度を上げるため、動画を作成する。

（倫理面への配慮）

出演者への説明と同意を得ている。

C. 結果

平成30年4月よりユーチューブをメディアとして利用して、ロコモ啓発ビデオを公開している。

D. 考察

厚労省の健康日本 21 では、2022 年までにロコモティブシンドロームの国民の認知度の数値目標を 80%以上としている。それに向けて、いろいろな団体が活動しているが、主だった成果は上がっていない。今回、我々は SNS などのメディアを使用して、低価格で効果が上がる方法を試行錯誤してきた。その中で、国民特に若い人はまだ「ロコ

モ」という言葉に触れていないと推測された。

E. 結語

平成 30 年 4 月にユーチューブにアップロードし、今後アクセス数や書き込みなどを調査し、次回の「ロコモ認知度調査」の結果を踏まえて結論を出したいと考えている。そこで、若者に人気のユーチューブを使用して、「ロコモ」という言葉のみを強調した動画を作成した。

平成 30 年 4 月にユーチューブにアップロードしたばかりで、まだ解析ができていない。今後、アクセス数などの調査をして結論を導きたい。

F. 研究発表

1. 論文発表
未発表
2. 学会発表
未発表

G. 知的所有権の取得状況

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし